
ポケットモンスター ゼロストーリー

紡ぎ人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポケットモンスター ゼロストーリー

【Nコード】

N6505N

【作者名】

紡ぎ人

【あらすじ】

かつてスナッチ団の1人として人からポケモンを奪い、時にはその命までも奪ったた青年。

己が生きてきた軌跡が故に消せない、苦悩と後悔と怨恨に満ちた「過去」を背負った1人のポケモントレーナーの物語。

贖罪の果てに得るのは「救い」か、はたまた「絶望」なのか…

ブローグ

ポケットモンスター、略してポケモン。

いつ頃、誰が最初にそう言い始めたかは定かでないが、由来としてはこんな話がある。

「ボールに閉まって、ポケットに入れて運べるから「ポケモン」と。」

ポケモンを手に入れるには「ボール」を使う。

一般に使用されるのは「モンスターボール」。

ジムリーダー達になると上位の「スーパーボール」。四天王やチャンピオン達になるとより上位の「ハイパーボール」。

他にも如何なるポケモンも捕獲できる至高のボール、「マスターボール」。

洞窟や夜になると捕獲率の上がる、「ダークボール」。

むしタイプやみずタイプのポケモンの捕獲率が高い、「ネットボール」。

他にも多数あるが、代表的なのはこれくらいであろう。

ボールはポケモンを捕まえる唯一の手段であり、ポケモンを自分を従わせるものでもある。

だがポケモンの意思が一方的にねじ曲げられたりはせず、トレーナーの力量が低ければポケモンは言うことを聞かなくなる。逆にボールが壊れればポケモンを従わせる枷は無くなる。

ボールのその性質を利用してポケモンを操り、互いに戦わせ、自分の腕と、ポケモンの力を上げる「ポケモントレーナー」と呼ばれるもの達がいる。

ポケモンを戦いに使うのはほとんどが彼らである。

…だが時としてポケモンを犯罪に使う輩もいる。

カントー、ジヨウトでポケモンを強盗、密輸、実験動物として利用した「ロケット団」。

ホウエン、シンオウの伝説のポケモンの力を悪用しようとした「マagma団」、「アクア団」、「ギンガ団」。

だがこれらとは少し異彩を放った組織がオーレ地方にいた。

既に人が捕まえているポケモンを再度捕獲して自分ものとする「スナッチマシン」と呼ばれるものを利用して、人からポケモンを強奪し、闇で心を閉ざした「ダークポケモン」、兵器としての改造を施された「バーストポケモン」に改造して各方面に売り渡していたのである。

…だがこのスナッチ団は2年程前に突然内部崩壊を起こし壊滅した。アジトは爆破され、内部に保管されていたダーク、バーストの両ポケモンすべてが消失し、スナッチマシンも一機を除いてすべて破壊されていた…。

それをしたのは「ゼロ」と呼ばれるその時まだ少年だった1人の人間だったという。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6505n/>

ポケットモンスター ゼロストーリー

2010年10月22日00時38分発行